



Vol.18

議会広報委員が市内の注目スポットなどを取材!!

議員ふじさん歩

取材担当:長谷川祐司

鎌倉殿の13人ゆかりの地

『古刹 岩本山實相寺』



仁王門



一切経蔵



輪蔵

岩本山の麓に位置する實相寺は、源頼朝や北条氏からの信仰が厚く、一説には平家討伐の祈願を行ったと伝えられています。

歴史は古く、久安元年(1145年)頃に鳥羽上皇の発願を受けた智印上人により天台宗のお寺として創立されました。

1258年に日蓮聖人が訪れ、一切経蔵に籠って修行した際に「立正安国論」の構想を練ったと言われており、後に日蓮宗に改宗しています。そして、1568年の武田氏の駿河侵攻によって伽藍を焼失することとなりますが、その後、再建されて現在に至ります。

また、實相寺には、市の有形文化財に指定された木造仁王像や一切経蔵をはじめとして、多くの文化財が所蔵されており、その歴史を感じることができます。ぜひ、一度立ち寄って御参拝ください。

議会にひと言

今回は、「ママのママを目指す」菜桜助産所の堀田久美院長に、産後ケアの重要性とその対策についてお聞きしました。



(インタビュー:井出晴美)

産後1年未満に死亡した女性の死因1位は自殺です。その要因とされる産後うつと診断される方は約9%、診断はされないものの、うつ状態である方を含めると40%に上ると言われています。富士市の出生数で計算すると、市内に産後うつの方は年間135人、予備軍の方は465人もいることになります。

菜桜助産所は、産後うつの支援に力を入れている事業所ですが、市からつなげていただくケースは数えるほどです。職員の方によるケアだけでなく、産後うつの対策に向け、また苦しんでいる御家族を救うために、産後ケアに取り組む事業所との連携をより図っていただきたいと思います。

産後1年未満に死亡した女性の死因1位は自殺です。その要因とされる産後うつと診断される方は約9%、診断はされないものの、うつ状態である方を含めると40%に上ると言われています。富士市の出生数で計算すると、市内に産後うつの方は年間135人、予備軍の方は465人もいることになります。

菜桜助産所は、産後うつの支援に力を入れている事業所ですが、市からつなげていただくケースは数えるほどです。職員の方によるケアだけでなく、産後うつの対策に向け、また苦しんでいる御家族を救うために、産後ケアに取り組む事業所との連携をより図っていただきたいと思います。

議会ヒストリー

Vol.18

「日本一の紙のまち・富士市」に向けた決議(平成25年)



本市は、豊富な地下水に恵まれ、明治時代から製紙産業が発達し、全国有数の紙・パルプ産地を形成してきましたが、電子情報機器の普及を背景に需要が低迷し、平成24年の紙・パルプの製造品出荷額は3931億8554万円とピーク時の6035億1444万円(平成3年)から大幅に減少しました。

そこで議会では、平成25年6月に、再生紙をはじめとする地元製品の活用を大いに啓発するとともに、災害時における紙に関するあらゆる備えに万全を期すなど、「日本一の紙のまち・富士市」に向け、その優れた功績を市民と共有し、全国に発信していくことを決議しました。

その後、令和元年には、紙・パルプの製造品出荷額は4786億9620万円まで回復し、近年では、製紙会社等で木質由来のセルロースナノファイバー(CNF)に関する研究・用途開発が進められており、産業の活性化を図っています。(担当:佐野智昭)

編集後記

今回の特集で紹介している令和3年度決算富士市議会事業評価では、5事業について、実績の評価や今後の方向性等を議会で話し合い、取りまとめた評価を踏まえ、翌年度予算に反映するよう市長に求めました。

11月には、4つの常任委員会で、富士市の重要な課題をテーマとした議会報告会を開催します。市民の皆様のお意見を伺う貴重な機会と捉え、取り組んでまいります。

(吉川 隆之)

次回定例会予告

11月定例会は、11月24日から12月9日まで開催される予定です。

(吉川 隆之)

発行
富士市議会
編集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト
富士市議会 検索

特集

9月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ